

神経心理検査 (Mini-Mental State-姫路)
の導入及び実施
第 1.0 版

- 1. 目的
- 本手順書は、Mini-Mental State-姫路（以下、MMS-H）を施行するに当たり、本検査が適切に施行されるよう、その標準的な手順を示すものである。

- 2. 適用範囲
- MMS-H の施行に関する業務。

- 3. MMS-H の概要
- MMSE は 1975 年に米国のフォルスタインらが開発した現在国際的に最も広く用いられている質問式の簡易認知機能検査法である。
- MMSE は見当識、記銘、注意と計算、再生、言語構成の 5 領域からなり、時間の見当識、場所の見当識、3 単語の即時再生、計算、3 単語の遅延再生、物品呼称、文章復唱、3 段階の口頭命令、書字命令、文章書字、図形模写の 11 設問により構成されている。合計得点は 30 点満点である。
- MMS-H は 1985 年に森悦郎らが MMSE の日本語版として一部に変更を加え作成した検査である。

- 4. 導入実施手順
- (1) 対象者
- 高齢者を中心とする。

- (2) カットオフ値 23/24 点
- 23 点以下は認知障害ありと判断される。

- (3) 施行時間
- 5 分程度。

- 5. 検査方法
- (別紙 1～6 をご参照下さい)。

- 6. 作成・改訂の履歴

版数	日付	作成/改訂	改訂理由	作成/改訂者

*別紙をご覧になりたい方は認知症臨床研究・治験ネットワーク事務局（Email:crndinfo@ncgg.go.jp）までご連絡下さい。